

衛生DXプロジェクト ドクターエアータオルによる「情報の資産化」

～ドクターエアータオルが実現する、次世代の衛生管理プラットフォーム～

「正しい衛生手順」を、工場の「物理的な鍵」に。

本提案は、ドクターエアータオル社の「自動ドア連動システム（オプション）」を基盤とし、その稼働ログを経営・現場の強力な資産へと昇華させるシステムアップデートのご提案です。



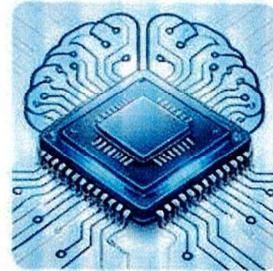
エグゼクティブ・サマリー



現状の課題

八百彦本店様で導入済みの「ドクターエアータオル+自動ドア連動システム」は、食品衛生における物理的なゲートキーパーとして極めて高い効果を発揮しています。

しかし、これまでは「ドアを開けるための動作」に留まっており、蓄積されたログ（記録）の真価が十分に発揮されていませんでした。▲



本提案の狙い

信頼性の高いハードウェアはそのままに、情報管理ロジックのみをアップデート。



ドクターエアータオルを「単なる衛生機器」から、「工場の清潔さを24時間見える化するデータハブ」へと進化させます。



得られる3つの資産



1. 時間の資産
(管理工数の自動化)



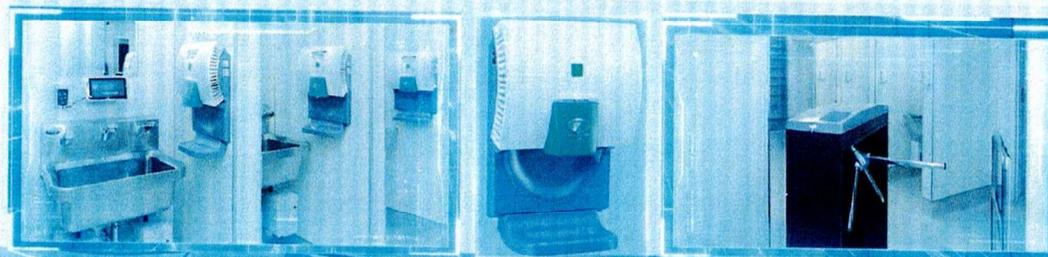
2. 人の資産
(スタッフの自律と自信)



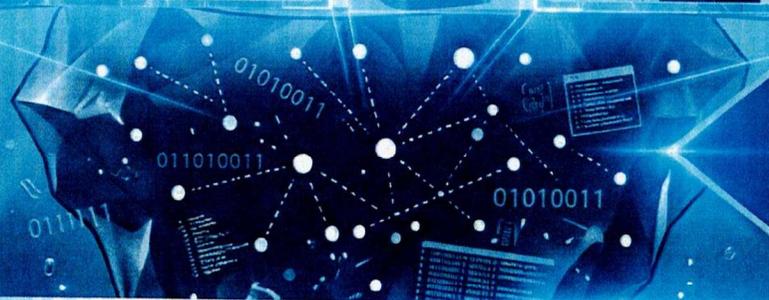
3. 信頼の資産
(HACCP/ESGの証明) 

課題：蓄積されたログは「埋没」し、その真価を発揮できていない

現在、「ドクターエアータオル+自動ドア連動システム」は物理的な衛生管理として機能しています。しかし、日々蓄積される膨大なログデータは、情報として整理されず埋没しています。



物理的な衛生管理（稼働中）



未活用の資産

本提案のコアコンセプト

既存ハードウェアを買い替えることなく、データを「点と点を結ぶ」形へアップデートし、清潔さを可視化する「資産」へと変えます。

現場を支え、価値を高める「4つのマネジメント機能」

ドクターエアータオル社のハードウェアが生成するログを、以下の4つの価値に変換します。



① 事務の自動化

HACCP適合帳票アクシステム

- ・ HACCP適合帳票の自動生成
- ・ 管理コストの劇的な削減



② 意識の変革

- ・ ゲーミフィケーションによる動機付け
- ・ 「やらされる」から「自らやる」へ

スマート管理
システム



③ 信頼の担保

- ・ 使用回数ベースのメンテナンス予報
- ・ リスクの未然防止



④ 社会的価値

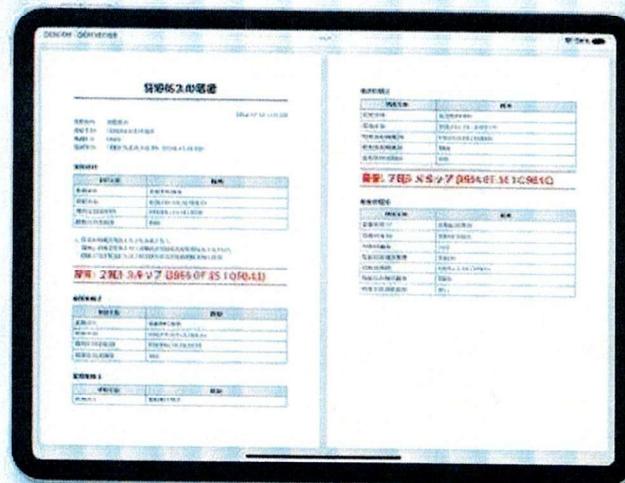
ESG環境貢献のリアルタイム可視化

- ・ ESG環境貢献のリアルタイム可視化
- ・ 対外的なブランドPR

【事務の自動化】管理者のチェック時間を「1日10秒」へ短縮

自動ドア連動により、「誰が・いつ・どの工程を終えたか」をシステムが自動集計し、PDF出力します。

導入後：異常のみを赤字で自動通知



※画面はイメージです

機能

現在お使いのExcel形式等に合わせ、「誰が・いつ・どの工程を終えたか」をシステムが自動集計し、PDF出力。

メリット

正常な記録を目視する必要はありません。異常（手順スキップや中断）だけを赤字で強調します。

価値

監査対応時にはボタン一つで完璧な証拠を提出。管理者の業務は「1日10秒」の確認だけで完了します。

【意識の変革】21秒の待ち時間を「自信」と「誇り」へ変える

機器付属の端末画面等を通じて、スタッフへ「1週間ノーミス継続中！」などのポジティブな通知を行います。



※画面はイメージです。

機能



端末画面を通じて、スタッフへ「1週間ノーミス継続中！」などのポジティブなフィードバックを即座に行います。

21秒の再定義



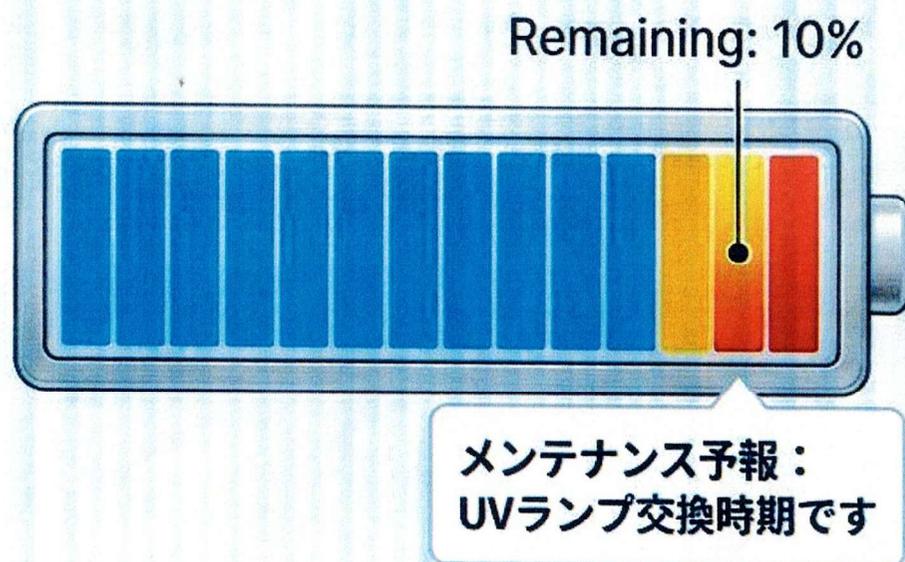
除菌の待ち時間を「待たされる苦痛」ではなく、「**食の安全に貢献している達成感**」を味わう時間へと変換します。

効果



チーム対抗ランキングなどで、監視されなくても自発的にルールを守る文化を醸成します。

【信頼の担保】 「切れる前」に教えるメンテナンス予報



機能



UVランプやフィルターの累積使用回数をカウントし、交換時期を自動通知します。

ロジック



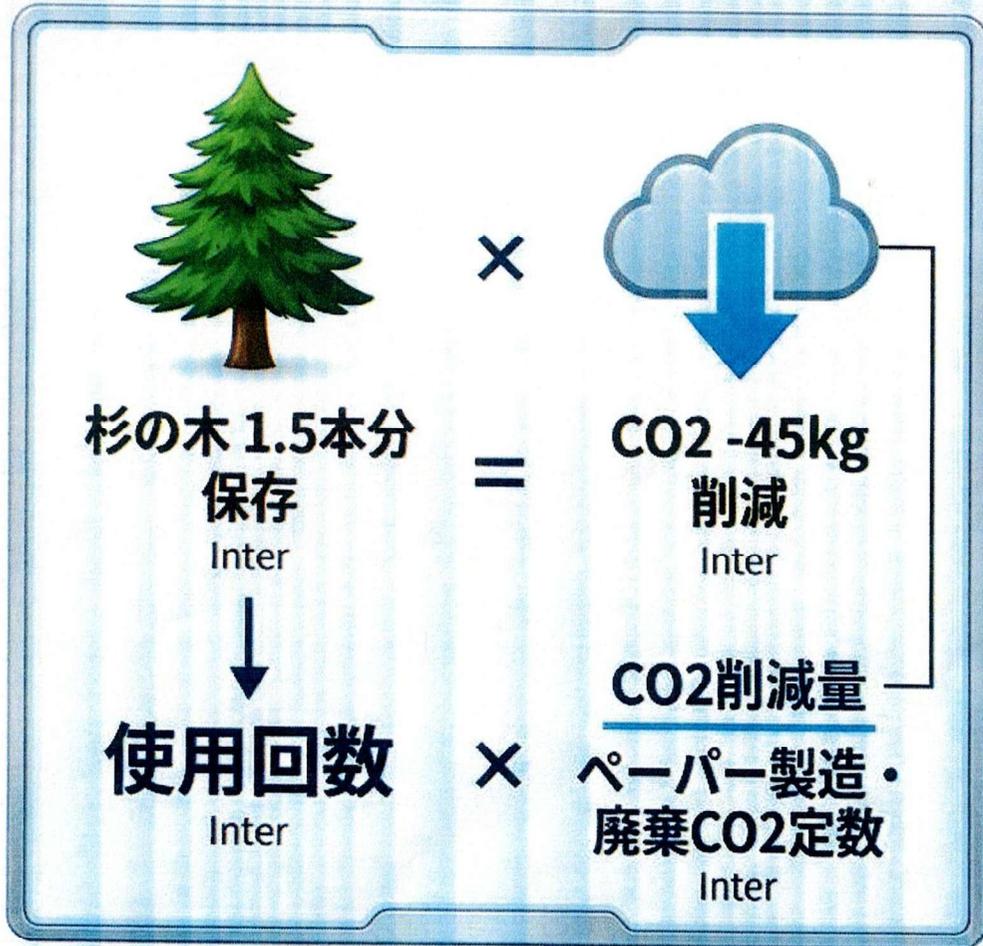
残寿命 = 設定寿命 - 累積使用回数
(残り10%で警告表示)

メリット



「いつの間にか殺菌能力が落ちていた」というリスクをゼロに。ドクターエアータオル社製ハードウェアの100%の除菌能力を常に保証し続けます。

【社会的価値】 環境貢献を数値化し、老舗のブランドを守る



機能



使用回数から、削減されたペーパー量とCO2排出量を自動算出・可視化します。

算出式



CO2削減量 = 使用回数
× ペーパー製造・廃棄CO2定数

メリット



「ドクターエアータオル導入による環境貢献」を具体的な数値でPR。「環境に配慮した老舗」としての取り組みを、百貨店等へ客観的にアピールできます。

管理画面：現場の「今」を直感的に把握するダッシュボード

ハードウェアと密接に連動した、管理画面のイメージです。

The Cockpit

Line Status



調理チーム
正常 (98%)
Inter



梱包チーム
注意 (82%)
Inter

ライン別・衛生ステータス
信号機の色（青・黄・赤）を見るだけで、「今、どこにサポートが必要か」が一目で判別できます。

本日の殺菌成功: 485回

クリーン・成功カウンター
失敗を責める監視ではなく、積み上げた「安全の実績」を強調。

ESG Metrics

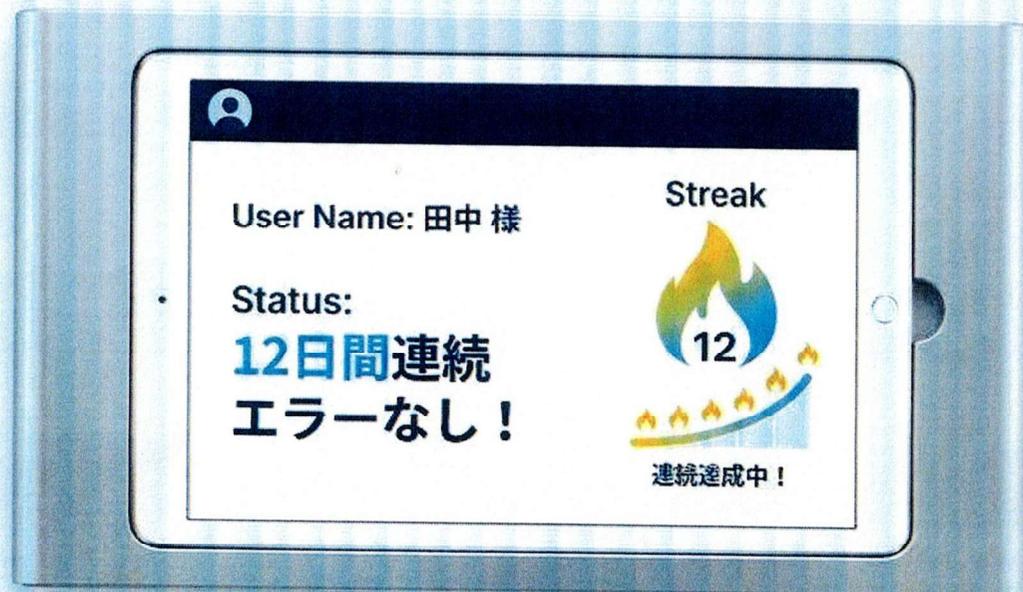


削減されたペーパー量:
45kg CO2相当 (本日)
Noto Sans JP

環境への貢献
ESG貢献度をリアルタイム表示。

※画面はイメージです。

社員向け画面：清潔に対する現場の意欲向上



※画面はイメージです。

ノーマス記録の見える化

「〇〇さん、現在
12日間連続エラーなし！
記録更新中！」

行動変容

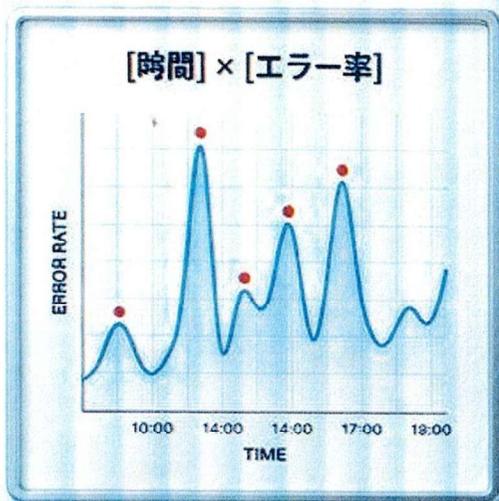
ゲーム感覚で達成感を味わえる演出。

意識の切り替え

単なる作業時間ではなく、
「食品ロスを防ぐための準備時間」と
定義し直すことで、「自ら進んで正しく
動く」意識を自然に促します。

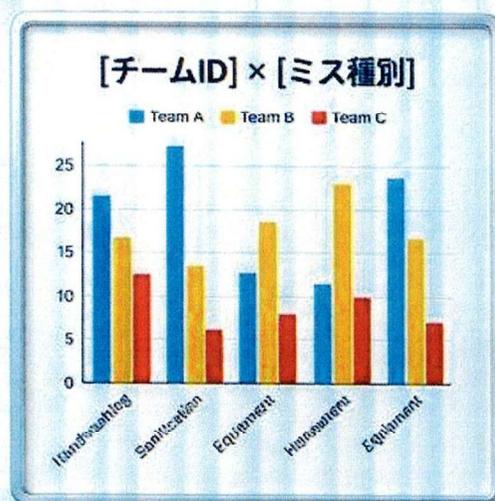
データの「点と点」を繋ぎ、現場の「隠れた課題」を可視化

ドクターエアータオル社の精密なログを掛け合わせることで、現場の課題を浮き彫りにします。



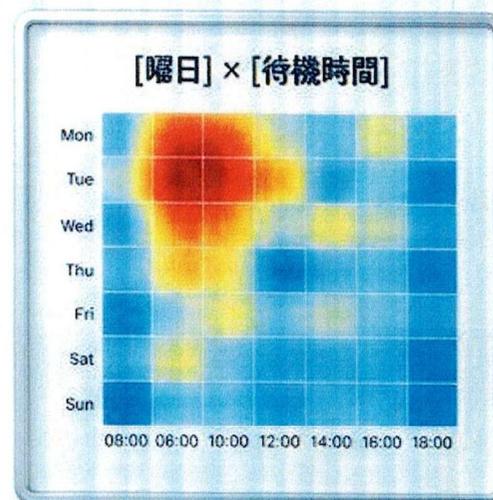
時間帯別エラー分析

特定の時間帯（交代時や繁忙期）に集中するミスを発見。



チーム別・傾向分析

「手洗い不足が多い」など、チームごとの指導ポイントを明確化。



曜日・滞留サイクル

「月曜朝の渋滞」など、運用のボトルネックを発見。

データから導き出される具体的な改善アクション



データからの洞察
(Data Insight)



物理的なアクション
(Physical Action)

ケース1：物理的改善

事実：「朝8時台に殺菌中断エラーが多発」

対策：単なる注意喚起ではなく、「シフトの重なりを5分増やす」「動線を分離する」といった物理的・構造的な改善を立案。

ケース2：心理的改善

事実：ステータスが「青」から「黄」へ変化

対策：「常に青（正常）を維持しよう」という現場の自律的な意識により、管理者が不在でも高い衛生水準がキープされます。

監査対応を「ゼロ工数」にする出力機能

ドクターエアータオルが取得する「標準ログ」を、CSV/PDFで即座に出力します。

Timestamp	User ID	Status	Error Code	Device ID
2023-10-27 08:15:00	U001	OK		D-A01
2023-10-27 08:16:30	U002	OK		D-B02
2023-10-27 08:20:45	U003	OK		D-A03
2023-10-27 08:22:10	U004	NG	E01	D-C01
2023-10-27 08:25:55	U005	OK		D-B04
2023-10-27 08:28:00	U006	OK		D-A05

タイムスタンプ

認証開始～完了
まで記録。

ユーザーID

「いつ、誰が」の
トレーサビリティ
を完璧に担保。

工程ステータス

手洗い・殺菌の完
遂 (OK/NG) を
証明。

エラー詳細ログ

E01 (手洗い不足)
など、ミスの傾向を
特定。

機器ID

機器ごとの故障
予兆を把握。

本システムがもたらす「3つの資産」

ドクターエアータオル社のハードウェアにこの情報管理が加わることで、ログは未来を支える「資産」へと変わります。



時間の資産

事務作業とチェックを自動化し、管理者が現場指導に専念できる時間を創出します。



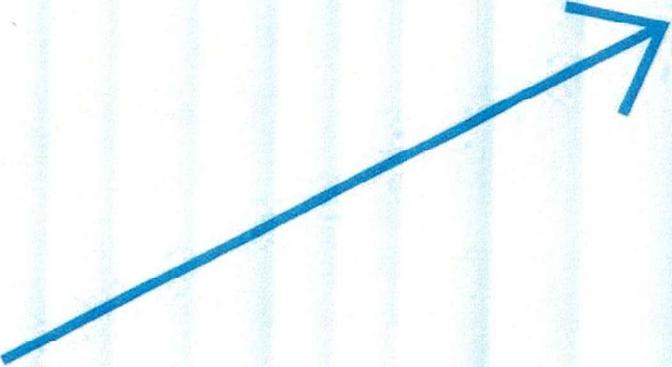
人の資産

スタッフがプロの誇り（自信）を持って動き、自ら安全を作る組織文化を醸成します。



信頼の資産

HACCPやESGの客観的なデータにより、老舗としての信頼を次世代へ証明します。



衛生管理は、守りから「攻め」のDXへ。

埋没していたログを、未来を支える資産に変えるために。

